

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	社会福祉法人 檸檬会 児童発達支援事業所レモネードキッズ草津		
○保護者評価実施期間	2025年2月19日		～ 2025年3月7日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	37名	(回答者数) 29名
○従業者評価実施期間	2025年2月19日		～ 2025年2月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 7名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年3月7日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	療育後に保護者へフィードバックすることで、子育ての悩み、園の様子等を話す機会を積極的につくることができている。	聞き取った情報は職員間で共有し、保護者に的確な返事ができるように多職種が多面的にとらえ意見交換をしている。	充実した家族支援をするために研修をおこなう。
2	個々の課題に即した個別プログラムを作成し、実施することで子ども達の変化を感じることができ、目つ家族と変化を共有することができた。	フィードバックすることで、特性について保護者と理解を一致させることができ、その中で課題を抽出したことを次回のプログラムに反映させることができる。	支援の質の向上を目指し、積極的に研修に参加する。
3	ニーズに対応するため、小グループでの療育を定期化し、集団での課題を保護者と確認し、取り組むことができている。	小グループの療育をすることでまた違った利用児の様子を保護者に見てもらうことができ、あらたな課題を知るきっかけとなった。 保護者同士がつながる機会をつくることできた。	保護者向け茶話会・研修会の開催の準備をおこなう。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者同士の交流をする機会をつくることができていない。	離職率が高く、行事の企画運営できる体制がとれていなかった。	今年度下半期は離職率0、2025年度も同じメンバーでスタートできるため、行事の企画運営を積極的におこなう。
2	地域の方と積極的につながることができていなかった。	地域について深く知る機会をつくることができておらず、積極的に関わってこなかった。	自治会長と良好な関係を気づき、地域のイベントへの参加(子育てサロン等)を積極的におこなう。
3	利用児・保護者と共に災害訓練・避難訓練をする機会をつくることできなかった。	人材不足の時期があり、行事計画を立てる余裕がなかった。	年間計画に入れ、滞りなく実施できるように行事計画を立てる。

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	児童発達支援事業所 レモネードキッズ草津	回収数： 7	公表日 2025年 3月 31日
------	----------------------	--------	------------------

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7		・ 離職がなく職員が安定したことでよりよい支援ができています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7		・ 離職がなく職員が安定したことでよりよい支援ができています。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	2	5	・ 個々の状況に応じて広いスペースを使うなど職員間で相談している。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	1	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	3	わからない… 1
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	1	・ 職員同士が研修の情報を積極的に共有することで、自主的に参加できている。
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	2	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6		無回答… 1
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7		・ 職員全員でケース会議を行い、それに基づき計画の作成を行っている。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	2	5	・ 太田ステージの検査ツールの導入に関心がある。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	3	

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7			・集団療育についての内容をもっと具体的に計画に入れる必要がある。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	1		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	4		・終礼は全員が揃わないため行っていないが、次の日の朝礼で必要なことは話す必要がある。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7			
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	3	無回答…1	
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)			無回答…1	
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	3	3		
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		7		・関係機関、地域との交流する機会を今後作れるように働きかける。	
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7				
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		7		・保護者に対しては個別のフィードバックのみ	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7			

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7			
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		6	わからない…1	・保護者会はない。 ・グループ療育において保護者同士が交流する機会はあるが、基本的に当事者親子で来所のためきょうだいに来ることは少ない。 ・今後計画し、定期的にできればよいと思う。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7		・インスタグラムでの発信に力を入れている。 ・今後はチラシを作成する予定である。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7			
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	6		
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	3		
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	3		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	2	5		
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	2	5		・食事提供がないが、アレルギー児は職員全員
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	3		
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	3		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7			
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7			
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。		7		・身体拘束について周知はしているが保護者への十分な説明と計画への記載は不十分である。	